

# 宗谷

宗谷教職員組合 「宗谷情報」 No. 18 平成28年2月16日発行  
発行責任者：高 一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館  
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484  
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org



## 宗谷教組の運動を豊かに！

### 第27回定期大会

宗谷教職員組合第二七回定期大会を二月十三日に、稚内総合福祉センターで行いました。今年一年間の組合活動を振り返り、これからの宗谷教組の運動に展望を持つ観点で討論を通して深め合うことができました。



#### 討論の様子から 若い先生の発言目立つ

各支部からの討論では、若い先生の発言が多くありました。「組合に誘ってもらって加入して、自分の街で組合の活動に集って…という経験から考えた『組合づくり』を自分の言葉で語る」――集うことやひとりひとりの先生方の存在を大切にしているからこそ、生まれてくる発言なのではないでしょうか。

一方で、発言という形ではなかなか表面化されない課題として、「せっかくな組合に入ったんだし、自分も力になりたい」「組合のことを知りたいし勉強もしたい」という願いが叶わなくてもみんなとして…という現状を抱えている方もいることに、私たちは気が付かなければなりません。

#### 学校づくりと人事 管内課題の 切実さが語られ…

今年度の人事異動についての管内課題に「礼文への入りが少ない」「中学校特別支援学級の経験者を求める学校が多い」というのがあります。各支部からの発言においても、この観点で切実な思いや不安を語るものがありました。

宗谷教組では人事闘争として、ひとりひとりの要求実現とこうした管内課題を統一的に解決することをめざしています。それぞれの発言の重みを受け止めながら、「学校づくりと人事」の最終盤の取り組みを進めます。

#### あなたのそばで 運動を創りたい！

組合づくりの良さだけでなく、「運動を創る過程」のエピソードや、組合づくりの困難性について語られたことも今回の大会の特徴です。組合の運動を創る側に携わる方のつながりを広めていくうえで、日々の学校業務との兼ね合いで組合活動を行うことの難しさが

## 子どもたちの「学び」 を考えるシンポジウム

### 管内から50名参加!

定期大会に続いてのシンポジウムでは、宗谷の教育研究運動の歴史と、今の社会情勢と「学び」が抱えている課題。数値「学力」と私たちが「子どもたちと育みたい『学び』」。こうした関係が、実にあらゆる観点から語られました。参加されたみなさんの感想をご紹介します。

◆昨年までの私だったら、このような交流会があったときは「へーなるほど勉強になるなあ」で終わってしまいました。でも今日は、「じゃあ私には何ができるだろう」と考えている自分に気づきました。これも普段、支部、分会の先生方とたくさん交流し、色々な考えに触れられている成果なのかなあと思いました。今後、組合の先生方との、いえ、多くの先生方との交流の場を大切にしていきたいと思えます。

◆全ての学校でのがんばり、つながりを聞かせていただきました。それぞれの学校の取り組みにたくさんの思いや頑張りを感じ

ました。

◆今回のシンポジウムを聞いて、子どもたちに学びを求めていくと同時に、それ以上に教師集団が学び合いをしていく必要があることを考えさせられました。学びとは何かを教師集団、子どもたち、保護者で共通のものにしながら、これからの道を進んでいくべきだと思います。

◆分会の中でも、以前「学力」について話し合うことがありました。「学力」や「学び」という言葉についてだけでも、けっこうな

意見の出試合で、どんな教育活動でも、はじめは集団の想いを共通化、課題意識を持つことが本当に欠かせないなと思いました。今日のシンポジウムも意識する良いきっかけになりました。

◆今日は、さまざまな実践をパネリストのみなさんから聞かせてもらいました。「研修」の話があがりましたが、私のような経験の浅い教員は、先輩教員の実践を聞くことが一番の学びになると思います。

このような機会があること自体、良い取り組みです。今後もこのような機会があり続けることを願います。

# 平和な世界を

# 「こころ」宗谷から

安全保障関連法が昨年可決されました。「教え子を再び戦場に送らないう」という宗谷教組の「スローガン」とも、宗谷管内全市町村でデモ行進を行ったり、札幌で行われている集会に参加してきました。子どもたちにも平和な時代を引き渡すためにも、この運動は継続していかねばなりません。各支部では学習会が行われ、「平和について考え続けよう」という確かめがされてきています。学習会が行われた支部からは本部に感想を含めた支部情報が届いてきています。

○将来子どもたちが、本当にこの国旗、国歌でいいのか？と議論がなされるような時代がくればいいなあと思えます。そのためには、しっかりと歴史（国旗・国歌）を伝えていくことが大切な気がします。伝える教師が知らなければ、伝わりません。今回の学習会はとても意義のあるものだったと思います。

○子どもと向き合う教員として、戦争や平和を深く考える1年でした。まだ若い頃、組合の先輩方が熱く語っていた思いをつなぎ合わせて自分の考えができればいいな、と思えます。

つていることを考えると、語り合うことの大切さを痛感します。そして飲み会になると「まだはじまつた」と感じていた先輩たちの日本社会の話が教育の根幹を揺るがす大事な話だった、と今更になつて感じます。やらなきゃならない仕事がいっぱいだけど、その流れにのっかるだけでなく、仲間とつながること、自分の方向性を確認したり、自分の勇気や力になると思うので、みんなで集まって話す機会がたくさんあつたらいいな、と思えます。

○知っているようで知らない。学んだ方がよいと思いつつも、なかなか自主的に学ぼうとはしない。でも、将来を生き抜いていく子どもたちには、自分で判断できる力をつけてあげないとダメだと思ふ。やっぱり、この仕事をしていく限り、目の前の子どもの未来を考えていかなければならないと改めて思いました。今日は真剣に考える時間になり、参加して良かったです。

○国民の気持ちを考えて政治にしてほしい。ただし、望むだけでなく、私たちもできる所から行動し、決して教え子を再び戦場に送ることのないようにしていかなければならぬと考えました。

これらは感想のごく一部です。感想を読みましたが、共通しているところが3つあります。

- ① 知っているようで知らないことが多い。
- ② 子どもと一緒に将来を考え、自分で判断できる力をつけるべきである。
- ③ 仲間と共に語り合い、自分の意見を持つことが大切。

忙しい毎日が続きますが、放置できる問題ではありません。今後も学び続け、「教え子を再び戦場に送らないう」ためにできることを考えていきましょう。まずできることは分会の先生方、職場の先生方と語り合うことです。(えんと)

## 言の葉 editorial note

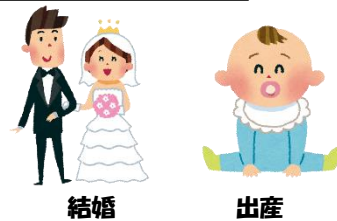
今月2日、広島県で非常に残念な事故がありました。ご存知の方も多いかと思いますが、小学校6年生の女儿がスキー授業中に一

般の男性客と衝突し、お亡くなりになるという事故です。宗谷管内各市町村でもスキー授業が行われています。スポーツには怪我がつきものなので、安全に取り組めるように連携をとることが大切です。スキー場では他校の教員と打ち合わせを行うなどし、楽しい授業になるようにしましょう！(えんと)

## 総合共済への加入をお願いします

月々600円の掛け金で、うれしいとき・かなしいときの給付がある全国の仲間の助け合いの制度です。退職時には掛け金が全額戻ります。給付の分だけお得な共済です。

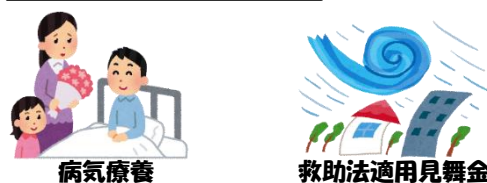
### うれしいときのお祝い給付



結婚

出産

### かなしいときのお見舞い給付



病氣療養

救助法適用見舞金

…など様々な給付があります。

総合共済の掛け金は、退職時に全額戻ります。「組合に月600円出資してあげる」と思っ、みなさん総合共済に加入してください。あなたの決意が、組合活動を豊かにします。

# 全教共済に入ろう！